

# サーモキング冷凍ユニット型式選定表

## サブエンジン型 (Trailer Units, Self Powered Truck Units)

断熱厚 (mm)		100		75		50			
庫内温度 (°C)		-25°C	-20°C	-15°C	-10°C	-5°C	-0°C	+5°C	+10°C
車両クラス (ton)	容積 (m <sup>3</sup> )								
	19								
	20								
	21								
	23								
	25								
	27								
	29								
	31								
	32								
	34								
	37								
	39								
	41								
	44								
	47								
	50								
	55								
	57								
	60								
	63								
	65								
	68								
	70								

↑
6
8
↓
↑
11
↓
↑
ト
レ
ー
ラ
↓

UT-1200SR/T-1200R/T-1200R SPECTRUM

SB-230/SPECTRUM SB/SLX-400/SLX-SPECTRUM

- ボデー熱貫流率Kは、100mm：0.3、75mm：0.4、50mm：0.6kcal/m<sup>2</sup>h°Cで、ボデー寸法、断熱厚は標準的なもので計算しています。
- 稼働率をサブエンジン型では75%、メインエンジン型では50%以下を目安としています。
- メインエンジン型ユニットでは、配送パターンにより熱負荷が変わりますのでご注意ください。
- ウイングボデーに冷凍ユニットを取り付ける場合、気密性が低下しますので大きい容積にて選定してください。
- 詳しくは弊社営業にご相談ください。

### サブエンジン型

冷凍機本体に専用エンジンを搭載し冷凍機を稼働します。トラックの走行状態に左右されない為、一定の温度管理が出来ます。サブエンジン型にはトレーラ用、アンダーマウント用、ノーズマウント用があります。

#### トレーラ用



#### アンダーマウント用



#### ノーズマウント用



### メインエンジン型

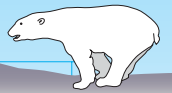
トラックのエンジン動力を利用して冷凍機を稼働します。サブエンジン型に比べて冷凍機重量が軽くなります。メインエンジン型にはバックインタイプ（コンデンサ・エバポレーター体）とセパレートタイプがあります。

#### バックインタイプ



#### セパレートタイプ





# メインエンジン型 (Vehicle Powered Truck Units)

